

「関東・東北豪雨」への募金のお願い！

生徒会執行部

9月9日から11日に関東や東北地方で発生した記録的な豪雨により、たくさんの方が被災しました。雀宮地区でも川が氾濫し、被害がありました。今でもたくさんの方が生活に困っています。

【1892年3月26日第3種郵便物認可】
下野新聞 1878年(明治11年)創刊
2015年(平成27年)9月12日(土曜日)
(日刊)

鬼怒川水害不明22人に

でも壊決

県、7市町災害救助法適用



台風18号による大雨の影響で土砂災害や浸水被害に見舞われた県内は11日、台風一過で天気が回復。本県で初となった大雨特別警報は解除された。一方で県は、継続的な援助が必要として栃木、佐野、鹿沼、日光、小山、下野、野木、7市町の災害救助法の適用を決定。大雨の爪痕は深く、住宅が土砂崩れに巻き込まれた鹿沼市の現場から女性が心肺停止で発見され、死亡が確認された。日光市で排水管に吸い込まれ意識不明の重体となっていた男性も死亡した。一部で地域の孤立や避難も続いているほか、栃木市藤岡町では河川の増水に伴い新たに避難指示が出された。

県内大雨被害 不明女性ら2人死亡 1134人避難継続、孤立も

下野新聞

しもつけ
発行所 宇都宮市昭和1丁目5番11号
電話 028-625-1111
郵便番号 350-8586
下野新聞社
電話 028-625-1111
郵便番号 350-8586
〒350-8586

大雨で道路が冠水し、ものを船で運出す人も11日午後3時50分、栃木市藤岡町で、大倉業伊子撮影

鹿沼署によると、土砂災害で死亡したのは鹿沼市日吉町、無職小林フミ子さん(63)。10日未明、住宅3棟が土砂崩れに巻き込まれた同所で、同日深夜、自宅に流れ込んだ土砂の中から、心肺停止の状態で見つかった。

今市署によると、日光市で意識不明になっていた同市岩崎、団体職員佐藤悦史さん(25)が死亡した。10日、同市板橋で排水管のつまりを除去する作業中、雨水とともに排水管に吸い込まれ、意識不明の重体となっていた。

県危機管理課の11日午後1時現在のまとめによると、栃木、鹿沼、日光の3市に出ている土砂災害警戒情報は解除された。

そこで雀宮中でも、募金を集めたいと思います！ ご協力よろしくお願ひいします☆

<期日> 9月28日(月)～10月9日(金)の毎朝回収。

<方法> 学級委員が朝呼びかけをして集め、担任の先生に渡す。

10月9日(金)放課後 生徒会役員が生徒会室で集計をします。